

十勝の研究活動

研修部副部長

池田町立利別小学校

校長 小澤 浩幸

1. はじめに

十勝小・中校長会は、本年度を第16次教育研究3か年計画の最終年次として、今日の学校教育に求められている諸課題の解決に向け、組織的な研究を進めている。

8月3日には、その中核となる第48回十勝小・中校長会教育研究大会を開催し、「展望と漸進」を合言葉に参画型の研修を深める中で、より高い次元での学校経営の在り方について、その究明に努めた。昨年度、北海道小学校長会教育研究十勝大会主管のために計画を1年間先送りにし、運営を通して得た組織力と各分科会での研究協議を通して得た課題へのマネジメント力を活かした研究大会にすることができた。



2. 研究計画

(1) 研究主題

ふるさと十勝から、新しい時代を切り拓き、心豊かに、社会を生き抜く力をはぐくむ小・中学校教育の推進

(2) 研究領域と研究課題

分科会	研究領域	研究課題（上段）と本年度の研究内容（下段）
1	組織・運営	創意あふれる経営ビジョンに基づく活力ある組織運営と校長の在り方 ・学校の評価システムを生かした信頼される学校づくりの推進
2	教育課程	生き抜く力の育成を目指す質の高い教育課程と校長の在り方 ・よりよい社会の形成に向け、創造性と参画意識をはぐくむ教育課程の改善・充実
3	危機管理	様々な危機に対応できる安全・安心な学校づくりと校長の在り方 ・自他の生命を尊重し、家庭・地域と連携した安全意識の高い学校づくりの推進
4	教育課題	今日的な教育課題に適切に対応する学校づくりと校長の在り方 ・高度情報化社会に生きる子どものICT活用能力の育成と学校情報化の推進

(3) 研究方法

本年度は、第16次教育研究の最終年次であり、①校内組織及び推進体制等における校長の組織マネジメント、②P・D・C・Aサイクルの各段階における校長のリーダーシップや指導性、課題解決の方策等における校長の姿について研究を深めてきた。特に、管内教育研究大会では、町村校長会の研修の成果と課題をもとに組織的な実践交流や検証が進められている。

3. 研究の概要（管内教育研究大会の概要）

（1）分科会

①第1分科会（組織・運営）

- ・提言：浦幌町小中一貫コミュニティ・スクールにおける学校評価システムの構築
浦幌町立上浦幌中央小学校 野上 泰宏
- ・キーワード：精選と共有，筋を通す，システム化，具体化と見える化

②第2分科会（教育課程）

- ・提言：創造性と社会参画意識をはぐくむ教育課程の改善・充実と校長の在り方
幕別町立白人小学校 佐藤 充弘

- ・キーワード：俯瞰，イメージと協働，コーディネート力の向上，カリキュラム・マネジメント

③第3分科会（危機管理）

- ・提言：家庭・地域と連携した安全・安心な学校づくりと校長の在り方

新得町立新得小学校 原見 寿史

- ・キーワード：顔見知り，連携，信頼，組織化

④第4分科会（教育課題）

- ・提言：教育の質の向上を目指したICT活用能力の育成と学校情報化の推進
広尾町立広尾小学校 鎌田 一寿

- ・キーワード：ICTの組織的な活用，研修の充実，整備と活用



（2）分科会のまとめ発表

分科会協議の概要を各司会者がキーワードをもとに発表した。それぞれの課題に対して、校長としてどのように指導性を発揮してきたか振り返るとともに、リーダーシップを発揮し課題解決する確かな手だてを学び、共有することができた。

（3）講演

演題「お客さま密着！で地域に貢献する十勝バスの取組み」
～40年ぶりの利用者増加の実例～

講師 十勝バス株式会社代表取締役社長 野村 文吾 氏

- ・本講演会では、厳しい経営状況にある地方バス業界にあって4年連続増収という快挙を成し遂げた奇跡の経営についてお話しいただいた。高い「志」をもつとともに、明確な企業理念の下、戦略的な営業強化を図る中で地域に貢献する会社経営を推進されていることなど、学校経営の改善につながる多くの示唆を得ることができる機会となった。

4. おわりに

本研究大会を終え、10月には研究集録を発行し、本年度の成果と課題の共有化を図った。それらをもとに、来年度の北海道小学校長会教育研究宗谷大会第13分科会「連携・接続」での提言に向けての取組へとつなげていく。さらに、来年1月には、国の教育振興基本計画や新学習指導要領の趣旨を踏まえた第17次教育研究3か年計画策定を終える予定である。

今後も、「子どもの成長の歴史に責任を負う」という本校長会の実践指標を念頭に、今次研究の成果と課題をしっかりと踏まえ、更に組織的な研究を推進など、管内各校の学校力向上に資する研究活動の充実に努めていきたい。